

No.12

三陸ジオパーク フォトロゲイニングフェスティバル

実施 2019年6月15日(土)沿岸南部エリア(釜石市~大槌町)
時期 2019年7月6日(土)沿岸北部エリア(普代村~野田村)



※写真はイメージです。
※写真提供
(一社)日本フォトロゲイニング協会

実施場所 釜石市及び大槌町、普代村及び野田村

実施主体 主催:三陸防災復興プロジェクト2019実行委員会
共催:開催地市町村、三陸ジオパーク推進協議会(調整中)
監修:一般社団法人日本フォトロゲイニング協会

事業目的 三陸ジオパークや震災遺構、みちのく潮風トレイルなどを組み合わせて、沿岸市町村を対象とした新たな観光コンテンツの開発、掘り起こしを図る。
周遊観光や防災教育の観点から関心が高まっているフォトロゲイニング※を活用し、三陸ジオパークやみちのく潮風トレイルを周遊してもらう新たな学びの旅の観光コンテンツを開発し、定着を図る。

※フォトロゲイニング

地図をもとに、時間内にチェックポイントを回り、得点を集めるスポーツ。参加は2~5人のチームで、チェックポイントではメンバーを入れて見本と同じ写真を撮影する。地図上の数字がそのまま得点となり、より合計点の高いチームが上位。一般的には3時間~5時間。いかに“効率よく”、“楽しんで”回れるかが作戦のカギで、観光やチームビルディングの要素も注目されている。

ターゲット オールターゲット(沿岸、内陸、全国、海外)
【集客目標】400人

実施市町村 釜石市、大槌町、普代村、野田村

関連事業 No.11 三陸ジオパーク ワクワクフェスタ

事業内容

三陸ジオパークやみちのく潮風トレイルといった三陸沿岸ならではの地域資源などを活用したフォトロゲイニング大会の試行により、新たな三陸の観光コンテンツ開発につなげる。

- ・ 三陸ジオパークに代表される三陸沿岸の景勝地や震災遺構、みちのく潮風トレイルなどを組み入れたルート設計を行い、スポーツ・観光・防災教育が連動した大会を三陸沿岸地域の2カ所で開催する。
- ・ 同大会の開催を通じて、報道及びSNS等により三陸ジオパークなどの魅力の発信及び周遊の促進を図る。

期待される効果

- ・ 三陸ジオパークの認知度向上が図られる。
- ・ 三陸地域の魅力発信、周遊促進により、交流人口の拡大が図られるとともに、「写真」を切り口にSNS等を通じた情報発信が促進される。
- ・ 災害時に自ら考え動く力や地図読解力の向上など、参加者の防災意識の醸成につながる。

今後の展開方向

- ・ 次期総合計画「長期ビジョン」(案)の三陸防災復興ゾーンプロジェクトに掲げる、三陸の魅力的な自然環境を活用した、スポーツツーリズムの推進により交流の活性化を図る。
- ・ 次期総合計画「長期ビジョン」(案)の三陸防災復興ゾーンプロジェクトに掲げる、三陸の地質遺産や文化・自然を活用した教育、保護・保全と国内外への情報発信、ジオツーリズムなどに取り組むジオパーク活動の振興を図る。
- ・ 地域主導型の防災及び減災意識の持続的な啓発を図る。
- ・ フォトロゲイニングの開催を通じて、三陸地域における新たな観光資源の開拓や体験型観光のメニュー開発の促進を図る。